愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

人間健康学の身体領域に関わる内容人間健康学の身体領域に関わる内容について、フィールドワーク、調査、ディスカッション、実践、データ収集、まとめる等の繰り返しすることで、学士力だけでなく、実社会で必要となるジェネリックスキル、考え方、行動力を身に付ける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピアインストラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習ゼミの運営方針の説明、個人面談、卒業論文・就職活動スケジュール、文献検索の方法などを説明する。	□
第2回	論文・レポートの読み方、書き方、文献検索の方法の確認	論文・レポートの読み方、書き方、文献検索の方法の確認をする。	□
第3回	抄読会（１）	レジュメやスライドなどを使い、文献の抄読をする。	□
第4回	抄読会（２）	レジュメやスライドなどを使い、文献の抄読をする。	□
第5回	フィールドワーク実践（１）	試行錯誤しながらフィールドワークを主体的に実践し、人間健康学に対する自己の考えを深める。	□
第6回	フィールドワーク実践（２）	試行錯誤しながらフィールドワークを主体的に実践し、人間健康学に対する自己の考えを深める。	□
第7回	フィールドワーク実践（３）	試行錯誤しながらフィールドワークを主体的に実践し、人間健康学に対する自己の考えを深める。	□
第8回	ディスカッション（１）	人間健康学の身体領域に関わる内容についてディスカッションする。	□
第9回	ディスカッション（２）	人間健康学の身体領域に関わる内容についてディスカッションする。	□
第10回	データ処理の処理（１）	調査・測定によって得られたデータを処理して読み取る。	□
第11回	データ処理の処理（２）	調査・測定によって得られたデータを処理して読み取る。	□
第12回	卒業研究の準備（１）	卒業研究のテーマを考える。	□
第13回	卒業研究の準備（２）	卒業研究のテーマを決める。	□
第14回	卒業研究の計画（１）	卒業研究の計画を立てる。	□
第15回	卒業研究の計画（２）	卒業研究の計画を立てる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業時間外に各回に必要な準備や復習またはフィールドワークを実施することがある。（４時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出物や課題は、全体で共通事項は全体に説明をし、別途、個別事項は個別指導によってフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	1. 人間健康学の身体領域に関わる内容を理解し、問題意識を持つことができる。 2. フィールドワークにおいて問題発見、試行錯誤、創意工夫、課題解決する努力ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験（口頭試問20%）その他（授業課題40%、フィールドワーク40%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	マンガでやさしくわかる論文・レポートの書き方	
2		
3		
4		
5		